



スカウト 浄土



The Scout Jodo

理事長就任のご挨拶

浄土宗スカウト連合協議会

理事長 東海林 良雲



三指 平成二十三年五月、理事会のご推挙を頂戴し、総会で理事長の役を拝命させていただきました。

スカウト運動は、時代の流れの中で大きな転換期を迎えています。その大切なときに、浅学非才の身である私のような者が、諸先輩の営々と積み重ねてこられた大切な理事長の席を、そして浄土宗スカウトの栄光を汚すことはないだろうかと心配するものがございます。しかし、一旦お引き受けした

以上は、身命を賭してこの役に取り組み、青少年の健全育成を推進し、ひいては念仏をお称えすることのできる人を一人でも多く輩出するように力を尽くしてまいりたいと思っております。

幸い、相談役として岡本前理事長がおられますので、大船に乗ったつもりで頑張りますので、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成二十三年は、私にとって忘れることのできない年となりました。三月十一日、国難とも言える東日本大震災は、東北太平洋沿岸部に甚大な被害をもたらしました。私の所属する団は、塩竈市にあり、海岸付近の街は大きな被害を受けました。幸い寺は高台にあり、被害が少なく済みましたので、ボーイスカ

ウト日本連盟の災害対策前線基地が設置され、先遣隊が常駐して、全国からのスカウトのボランティアの受け入れをしてきました。奥島日本連盟理事長も自ら被災地を視察し、被害者を励まされ、支援対策を指示しておられました。後に、対策本部は被害の大きかった石巻市の専修大学に移され活動を続けました。

浄土宗のスカウトも全国各地から駆け付け、八月には震災物故者の一宗法要に当協議会からも応援をいただき、厚く御礼申し上げます。信仰に裏打ちされたスカウトの奉仕の在り方ただただ感銘を受けたのでございます。

このたびの大震災にあたりご支援をいただいた日本連盟、全国各地のスカウトに感謝申し上げますとともに、このスカウト運動の発展に努力することが、皆様のご恩に報いることと深く心に刻み、なおいつそう努力精進することを誓い申し上げます。私の就任のご挨拶といたします。

東日本大震災初盆法要

参列奉仕について(報告)

浄土宗スカウト連合協議会事務局

林 秀峰



当たり前にして、照徳寺様と若林区浄土寺様で物故者のご回向をさせていただきます。



平成23年8月1日から8月2日にかけて浄土門主伊藤唯真殿下の御親修による東日本大震災被災地初盆供養法要が宮城教区愚鈍院様を会所として厳修されました。この法要に浄土宗スカウト連合協議会として参列・奉仕いたしました。

東京からは、岡本前理事長・本多英之理事・巖谷勝正事務局長と林の4名が参加し、東海林良雲理事長と東海林良昌事務局のお世話で実現いたしました。

初日は、当会の事務局中澤宏頭上人の自坊で、津波の被害に遭われた照徳寺様の惨状を目の

この2つの寺院は特に被害が大きく、照徳寺は山門・鐘楼・墓地は跡形もなく、庫裡や書院は傾いていました。また、浄土寺は、周辺の街と同じように、山門、本堂、庫裏など全てが流

されていて、残っていたのは土台と本堂に通じていた廊下などのごく一部でした。現在、お寺があった場所には誰が立てたのか、お地藏さまが一体立っている、命を失った多くの人々を弔っているかのような様子でした。



2日目は東日本大震災初盆法要が、若林区の愚鈍院様にて行われました。法要には被災寺院の僧侶延べ600人余りが参列し、震災物故者を追悼されました。法要の中では、震災物故者諸霊位の大位牌が伊藤猯下により開眼されました。

猯下は、次のようにご垂示さ

れました。

「お念仏を称えることで、残された人の心の中に愛しい人の記憶が生きてくる。念仏と共に亡くなった方々のお姿が浮かび上がる」

「悲しみや苦しみをこらえてお念仏をお称えし、先立たれた方とつながってお浄土のお方に頑張りを見ていただきましょう」

参列者の中には猯下のお言葉に涙する方もいらっしゃいました。

また、里見法雄宗務総長からも追悼のお言葉がございました。当会がこの法要に参列したのは、当会の会員にも津波の犠牲者が出てしまったからです。石巻第6団所属の故高橋譲氏です。高橋氏は、ボーイスカウトの団や地区の役職はもちろんのこと、日本連盟の教育国際副本部長を務められるなど、中央でもご活躍されていました。高橋氏をはじめ、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表すと共に、被災された方々にお見舞いを申し上げます。また、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。(八月記)

第五十五回 浄土宗スカウト仏教章研修会報告

浄土宗スカウト連合協議会事務局

研修隊副長 内田新実

平成23年3月27日(日)から29日(火)にかけての2泊3日、京都市の嵯峨清涼寺に於いて、浄土宗スカウト仏教章研修会が行われました。



清涼寺は「嵯峨の釈迦堂」という愛称で親しまれています。わが浄土宗宗祖法然上人が24歳の時、人々を救う仏教を求めて、この釈尊像の前に7日間おこもりしました。のちに浄土宗に改宗され、釈迦堂の名の通り、本堂には、お釈迦様がご本尊としていらつしゃいます。このような由緒のある清涼寺にご縁をいただき、本研修会が開催されました。

今回の仏教章研修会は、全国各地から仏教章取得を志す、ベンチャースカウト34名の参加がありました。

主任講師として牧達玄先生をお迎えし、「釈尊伝とその教え」「宗祖の伝記とその教え」についてご講義を頂戴しました。難しい内容も先生の素敵でやさしい語り口で、分かりやすく教えてくださいました。また勤行では岡本圭示先生のお導師のもと、別時念仏を行いました。



普段の生活では、ほとんど仏教に馴染みのないスカウトたち

が、お釈迦様や法然上人を知り、浄土宗の日常勤行を行うことは、とても意義深く貴重な体験であったと思います。

二日目の夜は、この研修会で最も大切な儀式である、帰敬式を執り行いました。

ここでスカウトが書いた帰敬式の感想をご紹介します。

「中でも帰敬式は、これまで2日ほど実際のお寺で生活した中でとても心に残るものだった。実は今までの講義を受けてお寺で夜を過ごしてみてもあまり仏様の存在や仏教の意味などを近くに感じる事がなかったのだが、隊長に名前を呼ばれ、とても暗い部屋の外に出たとたん、廊下にぽつぽつと灯る光るろうそくが目飛び込んできた。そして急に、『ああ、きつと仏様の教えもこの暗い廊下にぽつぽつと灯る光と同じに、道や行く先を照らすものなのだな』としみじみ感じた。また、はじめは暗くて怖いと思えなかったが、よくよく目をこらすと月明かりに照らされた美しい方丈庭園や本堂の中のお釈迦様が見え、『どんなに一人ぼっちで

さみしいと感じた時でも、仏様はどこでも見えていて下さるし、目をこらせばはじめは見えなかった美しいすばらしいものが見えるのだな』と分かった気がした。本堂の中で仏様がろうそくに照らされて、神々しく見えたことも印象的であった。今回の帰敬式は私に仏様とはどんな存在か気付かせてくれたと思う。」



他にも「常に仏様に見られている」「生まれ変わった気がする」など、各々宗教的な実感を味わってくださったようです。

2泊3日という短い研修会でしたが、宗教や信仰に初めて真面目に向き合う素晴らしい機会になったのではないのでしょうか。初めはたどたどしかったお十念も、最後にはすっかり板につきました。

スカウトたちには、この研修会を通して学んだこと、感じたことを日々のスカウティングに役立て、篤い信仰心を携えたスカウトとして活躍されることを心より期待しています。

栄誉を讃えましょう

浄土宗仏教章授与スカウト(平成23年2月18日~平成24年1月23日)

平成24年2月2日作成

浄土宗承認	氏名	団		寺院名	教導職	浄土宗承認	氏名	団		寺院名	教導職
H23.2.18	具嶋 剛士	大阪	71	大長寺	西田 恵心	H23.9.21	尾曾 幸平	飯田	1	柏心寺	安静 俊祐
H23.2.18	山口 真吾	八王子	13	察順院	木村 良成	H23.10.6	宮本 颯	柳井	3	浄慶院	桑原 一真
H23.2.18	底押 裕幸	八王子	13	察順院	木村 良成	H23.10.13	長田 環	千葉	27	大巖寺	長谷川匡俊
H23.2.25	野村 啓介	八王子	1	察順院	木村 良成	H23.11.17	原田 達也	荒川	1	清光寺	岡本 圭示
H23.3.11	畑 あずさ	八王子	7	察順院	木村 良成	H23.12.21	和田 悠佑	仙台	1	雲上寺	東海林良雲
H23.4.25	大崎 和哉	岸和田	5	浄福寺	舘 照道	H23.12.21	早坂 賢人	仙台	1	雲上寺	東海林良雲
H23.4.25	中野 翔真	岸和田	5	浄福寺	舘 照道	H24.1.6	後藤 大樹	名古屋	91	建中寺	村上 真瑞
H23.4.25	札本 卓	岸和田	5	浄福寺	舘 照道	H24.1.6	門脇 孝輔	尼崎	21	西運寺	田野島孝道
H23.5.13	小林 優祐	福住	1	察順院	木村 良成	H24.1.6	本田 稔	尼崎	21	西運寺	田野島孝道
H23.5.31	藤井 翔大	日野	1	察順院	木村 良成	H24.1.6	池辺 潤一	尼崎	21	西運寺	田野島孝道
H23.6.3	長田 遥	岡山	4	大巖寺	長谷川匡俊	H24.1.23	上原 寛之	長野	1	真光寺	近藤 秀祐
H23.7.19	田崎 淳	荒川	6	清光寺	岡本 圭示	H24.1.23	清水宗一郎	長野	1	真光寺	近藤 秀祐
H23.7.19	古家 帆高	新宿	17	来迎寺	林 純教	H24.1.23	中島 達洸	長野	1	真光寺	近藤 秀祐
H23.9.21	代田 裕也	飯田	1	柏心寺	安静 俊祐						

第三十八回 浄土宗スカウト指導者研修会報告

浄土宗スカウト連合協議会事務局

林 秀峰

今年度の指導者研修会は、浄土真宗本願寺派の本山、西本願寺を会場に平成24年2月25日から26日の1泊2日で開催されましたので報告します。



「寄りそう心とスカウティング」

第1講目はボーイスカウト日本連盟理事長の奥島孝康氏による「寄りそう心とスカウティング」でした。氏は自身のボーイスカウトの体験と法学博士としてのさまざまな視点からお話くださいました。

本講義の中で最も印象に残ったのは、「現代の大人は子どもを大事にしすぎている」ということです。「幼年期に自然に親

しみ、他の人と協力して何かを成し遂げるといふ経験は、どれだけ人生においてプラスになるか計り知れない。今、大人は子どもを大事にしすぎるあまり、そのような機会を子どもたちから奪っている」という言葉に感銘を受けました。



「信仰奨励章について」

ボーイスカウト日本連盟評議員・岐阜連盟理事の石神明氏より「信仰奨励章」についての講演がありました。次年度より隼章が復活し、隼章を取得するためには信仰奨励章の取得が義務づけられることから、信仰奨励章と宗教章の違いをわか

りやすく解説していただき、非常に勉強になりました。



その後、ボーイスカウト研修ということで「救命救急」、「被災に寄りそう」、「結実習」、「革細工」などのさまざまなワークショップを受講しました。どのワークショップも普段は体験することができない大変有意義な経験ができました。

その後の懇親会では仏教各宗派のスカウトの方々とお話しし、とどきを過ごすことができました。

「いのちのふるさとを歌う」

二日目は早朝から西本願寺の朝勤行に参座させていただきました。二日目の講義はシンガーソングライター



であり、浄土真宗本願寺派教恩寺住職のやなせなな師による「いのちのふるさとを歌う」を拝聴しました。ご自身の被災地支援活動の体験談や歌を交えての講義は非常に興味深いものがありました。

師の歌声は聴く者すべてを、その独特の世界へ引き込んでいき、参加者の中には涙を流す方もいました。

講義終了後、西本願寺の境内を参拝させていただきました。西本願寺には阿弥陀堂、御影堂の両堂をはじめ、書院や飛雲閣などの国宝や重要文化財があり、古都京都の文化財として世界遺産に登録されているそうです。非常に歴史の重みを感じる建物でした。



この研修で得たものを浄土宗スカウトのさらなる発展につなげたいと思います。浄土宗から10人を超すご参加をいただき、ありがとうございました。

大本山増上寺 法然さまを
たたえるよい子のつどいに
浄土宗スカウト集結せよ!

1年延期になりましたが、大本山増上寺800年御忌を記念した子どもたちのためのイベントが平成24年4月8日(日)に開催されます。旧芝離宮庭園から増上寺までのパレードと増上寺境内全域でのイベントが催されます。

パレードのスタートは午前10時。パレードが増上寺に到着する11時からは、大殿において幼稚園・保育園の子どもたちによる音楽法要が勤められます。イベントは、大殿前に設置される大舞台などで10時から16時までの間に執り行われます。

浄土宗スカウトは、パレードで勢至丸様の山車を引いたり、参加団体のプラカードを持ったりします。また、イベントでは、熊野神社付近での工作や境内を使ったスタンプリーを行います。ぜひ大勢の子どもたちを引き連れ参加してください。当日の奉仕者も大歓迎です。

4月8日は増上寺へ!

信仰奨励教化資料

本紙第30号で紹介したパネルシアターを使って信仰奨励章の取得課目である「アンノウンスカウト」をマスターできる教化資料を作成しました。「アンノウンスルジャー」とセットになっています。

会員には、データと台本を配付いたしますので、どうぞ活用ください。なお、貸出用セットもありますので、事務局へお問い合わせください。



震災復興支援活動

当会では、2ページに報告があるとおり、浄土宗の法要に併せて、被災地で追悼の誠を捧げてまいりました。また、現地の団以外でも遠く水俣1団から支援活動をしてきたと報告がありましたのでお伝えします。

8月22～25日に当会理事濱田

今年度 主な行事予定

団委員長率いるベンチャースカウト3人が石巻市で瓦礫撤去をしてきました。日頃のロープワークやキャンプ活動が本場に役立つたと感想が寄せられました。今後も引き続き支援をよろしくお願いします。

■総会開催のお知らせ

平成24年度年次総会を左記のとおり開催いたします。特別会計に関する規約の改正が議題となります。どうぞ、お練り合わせの上ご出席をお願いします。

日時 平成24年6月1日

午後2時～4時

場所 宗務庁東京第1会議室

■平成24年度指導者研修会

平成24年度は、東北復興支援をテーマに宮城県で開催する案が総会で提案されます。決定いたしましたしたら、スカウト精神を生かした復興支援活動を指導者研修の一環として取り組みますので万難を排してのご参加をお願いいたします。

■第57回仏教章研修会

第57回仏教章研修会は、鎌倉または京都での開催を予定して

います。定員は40名ですが、多くのスカウトを送り込んでいただきますようお願いいたします。

日程 平成25年3月27日(水)

29日(金)

場所 未定

地元開催を要望される方は必ず総会にご出席をお願いいたします。

平成23年度広報掲載報告

◆宗報

・6月号(仏教章研修会報告)

・2月号(指導者研修会開催案内、仏教章研修会開催案内、)

◆お知らせチラシ

・宗報2月号に同封発行

◆メールニュース

・No.25から28まで配信

※メールニュースの配信および会員向けメールングリストに登録希望の方は、事務局まで。

スカウト浄土

(第三十一号)

■発行/平成二十四年三月二十日

■東京都港区芝公園四一七一四

■浄土宗宗務庁社会国際局内

■浄土宗スカウト連合協議会

■URL: <http://scout.jodo.or.jp>

■e-mail: scout-info@jodo.or.jp

■編集者/巖谷勝正

■印刷/小竹印刷(株)